



岐阜県鋳工業指数(平成24年12月分)

生産指数 前月比 4.5%の低下

1 概況

平成24年12月の県内鋳工業の動向を季節調整済指数でみると、プラスチック製品工業、鉄鋼業等が上昇したものの、一般機械工業、化学工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は4.5%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷指数は6.8%減と低下に転じ、在庫指数は1.8%減と3カ月ぶりに低下した。

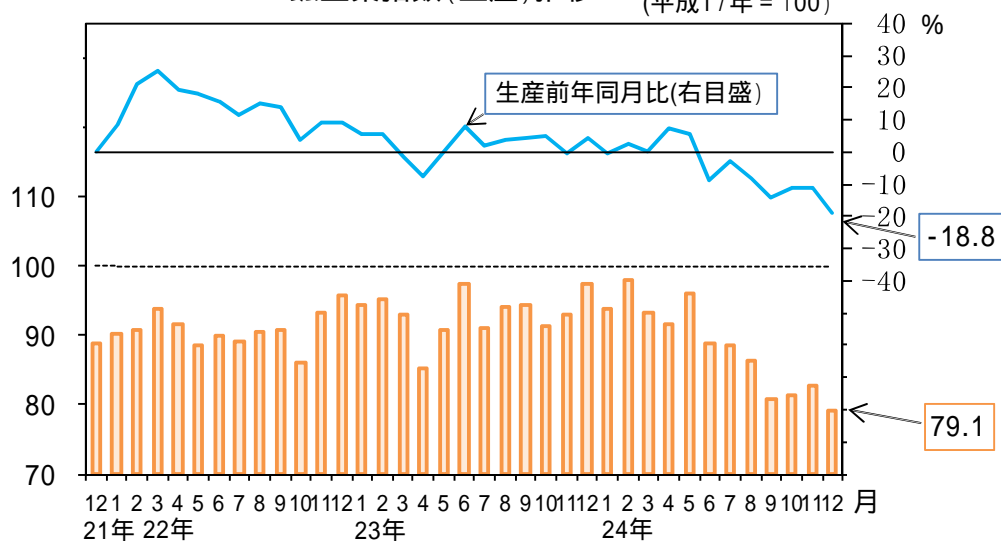
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は18.8%減となり、7カ月連続で前年を下回った。

(平成17年 = 100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	79.1	4.5	83.7	18.8
出荷	78.0	6.8	83.7	17.7
在庫	123.0	1.8	124.9	10.6

鋳工業指数(生産)推移

(平成17年 = 100)



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、橋りょう、管継手等が増加したものの、アルミサッシ、超硬チップ等が減少したため、6.8%減と3カ月ぶりに低下した。また、出荷は2.3%減、在庫は11.1%減と、ともに3カ月ぶりに低下した。

機械工業の生産は、旋盤、乗用車ボデー等が増加したものの、研削盤、超硬工具（超硬チップを除く）等が減少したため、4.7%減と低下に転じた。また、出荷は11.8%減と低下に転じ、在庫は1.7%増と4カ月連続で上昇した。

窯業・土石製品工業の生産は、生コンクリート、ガラス製品（容器類）等が減少したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、セメント等が増加したため、0.4%増と4カ月ぶりに上昇した。また、出荷は4.2%減と前月に引き続き低下し、在庫は0.1%増と3カ月ぶりに上昇した。

化学工業の生産は、触媒（自動車排気ガス浄化用）が増加したものの、医薬品、活性炭等が減少したため、8.1%減と4カ月ぶりに低下した。また、出荷は5.8%減と3カ月ぶりに低下し、在庫は9.0%減と11カ月ぶりに低下した。

プラスチック製品工業の生産は、プラスチック製容器、プラスチック製継手等が減少したものの、プラスチック製フィルム、ホース（プラスチック製）等が増加したため、1.3%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷は0.2%減と3カ月ぶりに低下し、在庫は3.2%増と上昇に転じた。

主要業種別動向

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	81.4	6.8	7.9	87.8	2.3	5.8	139.9	11.1	17.9
機械工業	75.6	4.7	25.6	71.7	11.8	26.6	151.3	1.7	22.5
一般機械工業	66.8	11.5	28.2	88.8	19.9	27.7	-	-	-
電子部品・デバイス工業	67.5	0.6	33.2	68.4	0.6	33.4	-	-	-
輸送機械工業	92.6	0.4	23.0	85.5	0.1	21.4	-	-	-
窯業・土石製品工業	69.4	0.4	15.8	65.9	4.2	10.4	88.4	0.1	1.1
化学工業	98.2	8.1	35.6	97.7	5.8	33.2	124.5	9.0	39.4
プラスチック製品工業	103.1	1.3	4.0	109.8	0.2	3.6	85.0	3.2	5.5

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年 = 100)

